

【概要・目的】

地域での暮らしを支えるために高齢者に対応した漁場づくり、遊漁や体験漁業の振興に取り組む

平成 30 年度の当初計画 (P)

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

- (1) 高齢者等に対応した漁場づくり
 - 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・ H31 年度の漁場整備計画の検討

2. 交流人口の拡大

- (1) 遊漁や体験漁業の振興
 - ポスト幕末維新博を見据えた、遊漁船業やその他体験観光等の旅行商品化
 - ・ 旅行商品開発支援事業の委託 (プラン作成・モニターツアー・旅行エージェントへの提案)
 - ・ 地元観光協会や遊漁者等との協議
 - 遊漁等の振興
 - ・ 関係者 (漁指、市町村、地域本部) との連携による新たな取り組みの掘り起こし
 - ・ 補助事業を活用した基盤整備、情報発信等の取組の支援
 - ・ 遊漁振興に関するアドバイスの実施
 - ・ 遊漁船業者等実態調査
 - ・ 遊漁マップの作成
 - アサリの増殖
 - ・ 活動組織及び水産試験場によるモニタリング
 - ・ 被せ網の設置とメンテナンス
 - ・ 小学生を対象とした学習会と潮干狩りの実施 (試験解放：9月)
 - ・ 潮干狩り事業の受け入れ体制の整備
 - ・ 垂下式養殖の推進

計画を進めるに当たってのポイント

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

- (1) 高齢者等に対応した漁場づくり
 - 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・ 投石による漁場整備に関する関係市町村の意向確認

2. 交流人口の拡大

- (1) 遊漁や体験漁業の振興
 - 遊漁等の振興
 - ・ ポスト幕末維新博に向けた遊漁船業等の体験観光商品づくり
 - アサリの増殖
 - ・ 資源の持続利用に向けた管理体制の構築

平成 30 年度の取り組み状況 (D)

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

- (1) 高齢者等に対応した漁場づくり
 - 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・ 中土佐町久礼及び上ノ加江においてつきいその設置に着手 (11月)
 - ・ 民間企業による投石実証事業を実施

2. 交流人口の拡大

- (1) 遊漁や体験漁業の振興
 - 遊漁船業等の旅行商品開発
 - ・ 自然・体験型観光キャンペーンに向けた、遊漁船業等の旅行商品開発支援事業を委託 (5/31)
 - ・ 県内 5 地域 (東洋町・室戸、宇佐・浦ノ内、黒潮町、土佐清水市、大月町) で旅行商品プランについて協議等を実施 (随時)
 - ・ 宇佐・浦ノ内、黒潮町、大月町で旅行エージェント等を対象としたモニターツアーを実施 (9/7-8)
 - ・ 観光コンベンション協会主催の高知県観光説明会で 5 商品を商談予定 (1/24 大阪、1/30 東京)
 - 遊漁等の振興
 - [宇佐・浦ノ内]
 - ・ 宇佐・浦ノ内渚泊推進協議会が申請した農山漁村振興交付金事業が交付決定 (8/22)
 - ・ 浦ノ内湾釣筏振興会が提携先ホテルや観光協会と連携した客の受入：236 人 (12/7 現在)
 - [須崎市]
 - ・ 野見湾での遊漁の集客増への取組、養殖筏カセ釣りの可能性を協議 (7/12、18)
 - 遊漁船業等アドバイザーの導入 (8/29)
 - [中土佐町]
 - ・ 県漁協上ノ加江支所漁業体験施設「わかしや」集客の増加を協議 (7/20、10/24)
 - 遊漁船業等アドバイザーの導入 (9/17)
 - [黒潮町]
 - ・ 釣筏の振興について協議 (5/24)
 - ・ 鈴地区の釣筏の増設 (既存 2 基、今回新設 1 基)
 - [土佐清水]
 - ・ 足摺釣りブリ組合の釣りブリ漁見学や遊漁事業化について、組合と協議 (5/14、6/21、7/27、8/13、10/12) →遊漁船業等アドバイザーの導入 (12/8)
 - [遊漁船業等アドバイザー]
 - 東洋町：釣筏をベースとした SUP・食事体験等の商品化 (8/30)
 - 須崎市：養殖筏カセ釣りの可能性 (8/29) [再掲]
 - 中土佐町：県漁協上ノ加江支所漁業体験施設「わかしや」の集客の増加 (9/17) [再掲]
 - 宿毛市：沖の島地区の振興 (10/30)、土佐清水市伊佐：釣りブリ遊漁 (12/8) [再掲]

○アサリの増殖

- ・ 宇佐地区協議会 (漁業者、アサリ販売業者、漁協等で構成) によるモニタリング及び既設被せ網のメンテナンス (5月～)、被せ網 (1ha) の実施 (6月～)
- ・ 土佐市等と 9 月の天皇洲アサリ学習会の開催について協議 (6/1、6/5、6/15、8/22)
- ・ 天皇洲アサリ学習会・潮干狩り体験 (宇佐小学校 5 年生約 30 名) (9/7)
- ・ 来年度の潮干狩り事業について宇佐地区協議会と協議 (6/15、9/5、12/11)

課題と平成 31 年度の取り組み (C、A)

見えてきた課題・改善策

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

- (1) 高齢者等に対応した漁場づくり
 - 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・ 投石による漁場整備箇所の掘り起こし

2. 交流人口の拡大

- (1) 遊漁や体験漁業の振興
 - 遊漁等の振興
 - ・ 新たな顧客の確保に向けた効果的な情報発信
 - ・ 受け入れ体制の整備
 - ・ 遊漁船業等の取組の磨き上げ及び新たな取組の掘り起こし
 - アサリの増殖
 - ・ 資源の持続的利用に向けた管理体制とルールづくり

平成 31 年度の取り組み (予定)

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

- (1) 高齢者等に対応した漁場づくり
 - 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・ 漁場整備事業の実施に向けた市町村等との調整

2. 交流人口の拡大

- (1) 遊漁や体験漁業の振興
 - 遊漁等の振興
 - ・ 遊漁船業等やその他体験観光等の旅行商品化の取組の推進
 - ・ [新規] 遊漁船業への新規就業の促進
 - ・ [新規] 遊漁船業等のインバウンド対応の強化を支援
 - アサリの増殖
 - ・ 活動組織及び水産試験場によるモニタリング
 - ・ 天皇洲での潮干狩りの開催とアサリ資源の持続利用に向けた体制の構築

【平成 31 年度末の目標 (H30 到達目標)】

- 1. 高齢者等に対応した漁場の整備 =H31：4 漁場<H29：1 漁場における、候補地の選定、地元調整の実施、実施計画の策定>
- 2. 遊漁や体験漁業の振興 =H31：10 件<H30：遊漁船業等の旅行商品化 5 件>
- 3. 遊漁や体験漁業の振興 (アサリの増殖) =H31：食害対策としての被せ網敷設面積 30,000 m²<H30：30,000 m² (H26 比+28,400 m²) >

【直近の成果】

- 1. 高齢者等に対応した漁場の整備 : 3 漁場で事業に着手
- 2. 遊漁や体験漁業の振興 : 旅行商品化に向けたモニターツアーを実施 (5 件中 3 件で実施、12 月末)
- 3. 遊漁や体験漁業の振興 (アサリの増殖) : H29：22,000 m²、H30：約 7,000 m²設置 (12 月末)